

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

キャリア教育の目標として、集団や社会の一員としての役割を理解し、責任を果たそうとする能力と態度の育成があります。そのために、会津支援学校ではキャリア発達課題として、情報活用能力（評価・改善する力）を重視しています。以下のように、小学部から経験を積み重ねながら少しずつ向上させていきます。

- 小学部 活動したことやできたことを教師とともに振り返り、褒められたり、感謝されたりする喜びを味わう。
- 中学部 活動の中でできたこと、できなかったことを振り返るとともに、周囲から評価を受けることで、次の活動意欲につなげる。
- 高等部 活動について振り返り、評価したことを次回の活動に生かす。周囲の人と仲間と評価し合うことで、互いの活動意欲を高める。

（会津支援学校キャリア教育計画キャリア発達課題より）

「キャリア発達の視点で児童生徒の能力を育てる」という意識で、小学部から高等部まで働く力を段階的に積み重ねます。

<小学部>

12月末に、2学期の振り返りを行いました。まずは学校で頑張ったことを教師と話し合いながら振り返りました。学習面では、「朝の運動」「名前の勉強」「体育」、生活面では「給食でお椀を持って食べること」「着替え」「トイレ」などが挙がり、学習面、生活面ともに具体的な頑張ったことが児童から聞かれました。最後まで頑張ったり上達したことを実感したりすることで、達成感をもつことができました。

家で頑張ったことでは、「タオルをたたむこと」「お片付け」など、自分の役割として日々取り組んでいることが聞かれました。

頑張ってきたことを教師と一緒に具体的に振り返り、3学期も頑張っていくことを確認できました。

どのくらいできたか、○をつけましょう。	よくできた	すこしできた	できなかった
・ともだちと、なかよく できましたか。	○		
・はじめのことでも、がんばれましたか。	△		
・わからないことは、せんせいに きましたか。	△		
・じぶんから、べんきょうやうんどうを できましたか。	○		

<中学部>

中学部3年生は、一般企業や就労継続支援事業所などで1日体験をする「就業・生活体験学習」を実施しています。普段の作業学習での目標と反省を踏まえ、この体験学習

においても目標をもって取り組んでいます。

布を裂いたりマグネットを作ったりする仕事は初めて経験するものだったにもかかわらず、どの仕事も大変意欲的に取り組むことができました。はさみを使った仕事も多く、学校や家庭ではさみを使っていた経験が生かされたようです。

挨拶がきちんとできていたことや仕事が上手にできたことなどを体験先の方から褒められたことを思い出し、反省では二重丸のシールを貼ることができました。一方、達成できなかったことに自分から気づき、三角のシールを選んで貼る様子も見られました。新しい仕事にも楽しく取り組めたことやたくさん褒められたこと、できなかったことに自分で気付けたことなど、たくさんの収穫があった体験となりました。



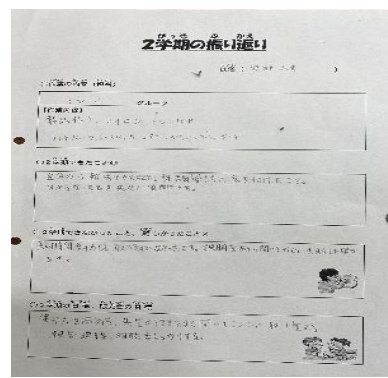
作業学習の様子

<高等部>

高等部では職業B・作業学習の学習の振り返りを行いました。作業内容に関する振り返りだけでなく、働くうえで必要となる挨拶や返事、報告・連絡・相談などに関する課題も見つけることができる機会となりました。

1学期は、教師の指示があつてから作業に取り掛かっていた生徒が、2学期は作業に見通しをもつことができ、自分から次の作業内容を教師に確認することができるようになりました。また、以前は分からないことでも「はい。」や「大丈夫です。」と返事をしていたことが、分からないことは「教えてください。」と伝え、教師と相談しながら作業に取り組めるようになってきました。

働く上でも返事や報告・連絡・相談は大切です。今後も引き続き個に応じて適切に伝える方法や手段を考え、学校生活の中で取り組めるように学習していきます。



職業Bの様子